



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和7年10月30日発表
担当課:スポーツタウン推進
課

タイトル

熊谷市誕生20周年記念第36回熊谷さくらマラソン大会を開催
します！

1. 日時 大会日時：令和8年3月22日（日） 午前8時15分 開会式
2. 場所 大会会場：熊谷さくら運動公園陸上競技場及び市内特設コース

3. 事業概要

熊谷市誕生20周年記念第36回熊谷さくらマラソン大会を開催します！

（受付、定員等）

受付：令和7年11月10日（月）から令和8年1月12日（月・祝）まで（先着）

受付方法：インターネット（RUNNET）のみ

定員：ハーフマラソン2,200人、10km1,400人、5km950人
2.5kmと1.5kmで450人、1.5km親子500組1,000人

（目的）

本大会を通じて市民の健康増進・スポーツの一層の振興を図るとともに、スポーツ熱中都市としての本市を全国に発信します。

（経緯）

第1回大会を平成3年2月に開催し、市街地を通るコースはフラットで走りやすく沿道の大声援がランナーに好評で、桜の開花時期と重なれば「さくら名所100選」にも選定されている熊谷桜堤（くまがやさくらつつみ）で「花見ラン」を楽しむことができます。

ハーフマラソン、10km、5kmでは、スタートからフィニッシュまでのネットタイムも計測し、フィニッシュ後の豚汁サービスも実施します。

前回大会は、全国（北海道から熊本県まで）から、5,000人以上のエントリーがあり、特にハーフマラソンは人気があり、コロナ禍前は毎年定員に達していました。

4. 特徴やPRポイント

ゲストランナーは、東洋大学時代「二代目山の神」として箱根駅伝で活躍し、卒業後も実業団選手として活躍された柏原竜二（かしわばら りゅうじ）さんをお招きし、参加者の皆様の盛り上げます。そのほかに、ニューイヤー駅伝でもおなじみのSUBARU陸上競技部、箱根駅伝の伝統校としておなじみの、大東文化大学陸上競技部、地元立正大学陸上競技部の皆さんをお招きいたします。

さらに、ランナーの方が安心してレースに臨めるよう、有料のコインロッカーを設置いたします。

そして、今大会もエントリー者限定オリジナルTシャツを特別価格にて販売します。大会前にお届けしますので、大会当日はオリジナルTシャツを着て、大会を楽しみましょう！

5. その他

主催：熊谷市・熊谷市教育委員会・（公財）熊谷市スポーツ協会

主管：熊谷さくらマラソン大会実行委員会

特別協賛：株式会社プロテリアル熊谷磁材工場

大会会長：熊谷市長 小林 哲也 実行委員会会長：松本 富男

※ 資料の有無（有 ・ 無 ）

担当者 古川、秋谷

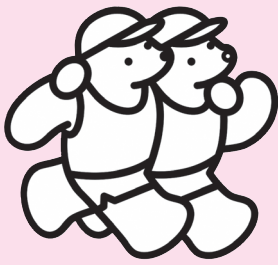
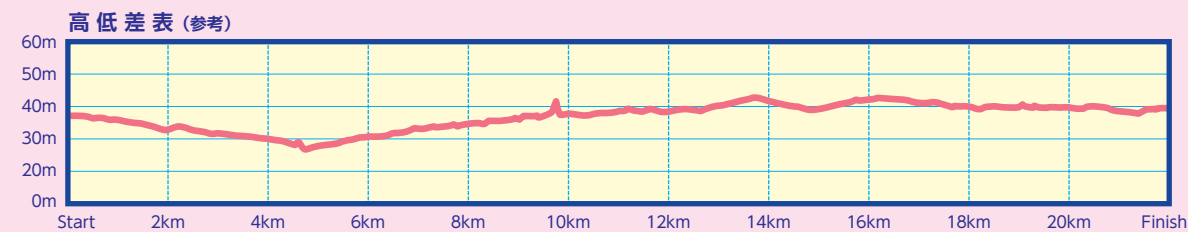
連絡先 内線349

※市HPの掲載（有 ・ 無 ）





フラットで走りやすいコースです！



©熊谷市

熊谷の魅力をご紹介します！



妻沼聖天山

平成の大改修を終え、建造物として埼玉県で初めて国宝に指定された熊谷の「妻沼聖天山」。日光東照宮を彷彿とさせる極彩色の彫刻が見どころです。縁結びのご利益があると信仰されています。

熊谷桜堤

江戸時代から桜の名所として知られ、平成2年には日本さくらの会から「さくら名所100選」に選ばれました。今も変わらず多くの花見客が約2kmに渡って続く約500本のソメイヨシノのトンネルを觀賞するために訪れます。

熊谷ラグビー場

「ラグビータウン熊谷」を掲げ、ラグビーによるまちづくりに取り組んでいます。ラグビーワールドカップ2019™日本大会では、熊谷ラグビー場で予選プール3試合が開催され、世界最高峰の熱い試合が繰り広げられました。



熊谷うちわ祭

延べおよそ75万人の集客を誇るのが、7月20日から3日間行われる八坂神社例大祭のうちわ祭。12台の山車・屋台が熊谷囃子とともに市街地を巡行する様子は、その絢爛豪華さから「関東一の祇園」と称されています。夜空に響きわたるお囃子と歓声。訪れた人の誰をも熱く燃えさせます。

熊谷花火大会

熊谷花火大会は、昭和2年「全国花火大会」の開催に始まり、戦時下の中断を経て、昭和23年「大熊谷復興煙火大会」の開催を第1回として、現在に至ります。関東でも最大級の花火大会として、また駅近の花火大会として、多くの皆様に知られています。

グルメ

「熊谷うどん」や「雪くま」のほか、文化庁100年フードに認定された「熊谷銘菓 五家宝」や「妻沼のいなり寿し」などグルメもお勧めです。



熊谷市観光協会HP

熊谷市観光協会

月～金/8:30～17:15
※祝日および年末年始休業

<https://www.oideyo-kumagaya.com/>

THE FUTURE BEYOND FORWARD MOVE

KUMAGAYA さくら MARATHON

2026.3.22 雨天決行 SUN

熊谷市誕生20周年記念

第36回熊谷さくらマラソン大会

熊谷さくら運動公園陸上競技場

© Kumagaya City

熊谷さくら運動公園陸上競技場

- ハーフマラソン
- 10km
- 5km
- 2.5km
- 1.5km
- 1.5kmファンラン (親子マラソン)

お問合せ

大会事務局 (熊谷市総合政策部スポーツタウン推進課)
TEL 048-524-1760 / 048-524-1135 (直通)
受付時間: 月～金 (土・日・祝日を除く) 8:30～17:15

大会公式HP
<https://www.kumagaya-marathon.com>

大会公式 Instagram
@kuma_sakura_marathon

お申し込み

2025.11.10 MON ~ 2026.1.12 MON

先着順 定員制 インターネット (RUNNET) 受付
<https://runnet.jp/>

- お申し込みには、RUNNETの会員登録 (無料) が必要です。
- お申し込みには別途エントリー手数料がかかります。 (4,000円まで240円、4,001円以上で6.0% 税込)



柏原 竜二さん

1989年、福島県いわき市出身

福島県立いわき総合高等学校を経て、東洋大学へ進学。大学1年生時の箱根駅伝5区で区間新記録を獲得すると、大学4年間で4度の5区区間賞、3度の区間新記録、3度の総合優勝を箱根駅伝で経験。「二代目山の神」として多くのかたに親しまれ、大学卒業後は富士通へ入社し、全日本実業団対抗駅伝 (ニューイヤー駅伝) でも活躍した。現役引退後は、マラソン大会や駅伝大会の解説を務める傍ら、マラソン大会やランニングイベント等にも多数出演している。

Guest Runner ゲストランナー 実業団・大学



SUBARU



立正大学



大東文化大学

桜の名所を 駆け抜ける

フラットで走りやすいと評判のコースと沿道の大声援が自慢の大会です。

ハーフ、10km、5km ではネットタイムを計測し、より正確なタイムを知ることができます。

レース後の充実したサービスや熊谷ならではの特産品やご当地グルメもお楽しみいただけます。

申込開始 2025年11月10日(月) 9:00～

申込締切 2026年1月12日(月・祝) 23:59

※アスリートビブス(ナンバーカード)等は事前に郵送しますので、当日の受付はありません。
※定員になり次第**締め切り**となります。

開催要項

■主 催：熊谷市・熊谷市教育委員会・公益財団法人熊谷市スポーツ協会

■主 管：熊谷さくらマラソン大会実行委員会

■特別協賛：株式会社プロテリアル熊谷磁材工場

■協 力：熊谷警察署・航空自衛隊熊谷基地・秩父鉄道株式会社・秩父鉄道観光バス株式会社・J R東日本旅客鉄道株式会社熊谷駅・N T T東日本株式会社埼玉事業部・株式会社セキチュー熊谷小島店・障害者支援施設新光苑・日本赤十字社埼玉県支部・J A くまがや・熊谷市消防団・熊谷市自治会連合会・一般社団法人熊谷市医師会・一般社団法人熊谷市歯科医師会・熊谷市交通指導員会・熊谷市レクリエーション協会・熊谷市スポーツ推進委員協議会・熊谷市

1 ゲストランナーと走ろう！



かしわ ばら りゅう じ
柏原 竜二 さん



SUBARU 陸上競技部



大東文化大学陸上競技部



立正大学陸上競技部駅伝部門

スポーツ少年団・熊谷商工会議所・くまがや市商工会・熊谷ライオンズクラブ・熊谷市子ども会育成連絡協議会・シンコースポーツ・熊谷ハートフルグループ・ジョンソンコントロールズ共同事業体・熊谷市商店街連合会・熊谷ロータリークラブ・熊谷東ロータリークラブ・熊谷西ロータリークラブ・熊谷龍原ロータリークラブ・熊谷南ロータリークラブ・一般社団法人熊谷市観光協会・医療法人社団nagomi会まつだ整形外科クリニック・医療法人社団nagomi会健康スポーツクリニック・ランニングスクール熊文

■後 援：読売新聞社さいたま支局・埼玉新聞社・テレ玉・J : C O M熊谷・深谷・埼玉よみうり新聞社

■期 日：令和 8 年 3 月 22 日(日) 雨天決行

■会 場：熊谷さくら運動公園 陸上競技場及び市内特設コース

■参加資格：(1)各部門の対象に該当しており、健康に自信がある方
(2)競技規定、申込規約に同意する方で、制限時間内に走れる方
(3)車椅子等の器具を用いた走行は、コース幅・形状等の関係で御遠慮いただいております。
(4)20歳未満の参加者は、保護者の承諾を得ている方

■競技規定：(1)2025年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずる他、本大会規則によります。
(2)ハーフマラソンは2時間30分、10kmは1時間20分を経過した時点で競技を終了します。制限時間を経過した時点で、交通規制は解除されます。
(3)5kmの部は3km地点「30分」を超えたランナーに特別措置を設けます。
※特別措置とは、ランニングアドバイザーが遅ランナーを歩道に誘導し、歩道を走行させながらゴールに向かわせる措置をいいます。
ハーフマラソンは9.7km地点に2時間10分、18km地点に2時間10分の関門を設けます。関門を時間内に通過できない場合は競技を中止し、係員の指示に従ってください。また、交通規制時間の都合上、著しく遅れた場合(4km地点を36分、約8km地点を72分以内に通過できない場合)も、同様に競技を中止していただきます。
(4)競技者は、原則道路の左側を走行してください。
(5)親子マラソンは、同伴者が計測用チップを装着しフィニッシュ時は手をつないでください。

■表 彰：(1)参加者全員に参加賞を贈呈

(2)各部門1位～8位に賞状・賞品を贈呈

■注意事項：(1)3月上旬にアスリートビブスとICタグを郵送しますので、当日は忘れずにお持ちください。忘れた場合は、1,500円で再発行します。
(2)ハーフマラソンと10kmの部は、スタート場所、招集場所が他の種目と異なります。招集場所には荷物預かりはありませんので、ご注意ください。
(3)参加者は、事前に医師の健康診断を受けてください。また、万一の事故に備え保険証または保険証の写しをご持参ください。
(4)当日不参加で参加賞を希望する場合は、大会終了後、事務局にICタグ、アスリートビブスと返信用切手510円分を同封してお送りください。
(5)ハーフマラソンと10kmの部は、スタートから約1.1km地点に踏切があります。スタートの約10分後には電車の通過に伴い踏切を横断することができなくなります。なお、踏切中断に対する記録・関門時刻等の救済措置はありません。
(6)ハーフマラソンの部と10kmの部は同時スタートとなりますが、途中でコースが分岐します。自己都合によるコース変更はできません。

距 離	種目番号	種 目	参加費	スタート時刻	定 員
ハーフマラソン (21.0975km)	1	一般男子 18歳～39歳(高校生を除く)	5,000円	9時25分	2,200人
	2	一般男子 40歳代			
	3	一般男子 50歳代			
	4	一般男子 60歳以上			
	5	一般女子 18歳～39歳(高校生を除く)			
	6	一般女子 40歳以上			
10km	7	一般男子 15歳～39歳(中学生を除く)	高校生 2,000円	9時25分	1,400人
	8	一般男子 40歳代			
	9	一般男子 50歳代			
	10	一般男子 60歳以上			
	11	一般女子 18歳～39歳(高校生を除く)			
	12	一般女子 40歳以上			
5km	13	一般男子 18歳～39歳(高校生を除く)	1,000円	8時55分	950人
	14	一般男子 40歳以上			
	15	一般女子 15歳～39歳(中学生を除く)			
	16	一般女子 40歳以上			
	17	中学男子			
	18	中学女子			
2.5km	19	小学6年生男子	3,000円	9時30分	450人
	20	小学6年生女子		9時35分	
	21	小学5年生男子		9時20分	
	22	小学5年生女子			
1.5km	23	小学4年生男子		9時25分	500組 1,000人
	24	小学4年生女子			
	25	親子マラソン小学3年生			
1.5km ファンラン (表彰なし)	26	親子マラソン小学2年生			
	27	親子マラソン小学1年生			

※年齢は開催当日を基準とします。

※申し込み後の選手変更は認めません。

※高校生は、原則として2007年(平成19年)4月2日から2010年(平成22年)4月1日までに生まれた方を対象とします。

※小・親子の出場種目は申込時点の学年とします。

※スタート時刻は、変更となる場合があります。

2 アクセスも便利でラクラク！

熊谷駅からは電車、籠原駅からはバスが無料で乗車できます。ランナーだけでなく応援の同伴者も OK。下記どちらも、乗車の際に係員にアスリートビブスを提示してください。



電車を利用の方

秩父鉄道熊谷駅(JR熊谷駅下車)とひろせ野鳥の森駅間を、無料で乗車できます。ひろせ野鳥の森駅から会場までは徒歩約15分です。



バスを利用の方

JR籠原駅南口から会場までの無料送迎バスを運行します。籠原駅からは10分程度で会場に到着します。



車でお越しの方

- 関越自動車道 花園IC から約16分
- 関越自動車道 東松山IC から約24分
- 東北自動車道 羽生IC から約45分

※参加者用の駐車台数には限りがあります。会場周辺も大変混雑しますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

3 返却不要のICタグで当日もラクラク！

記録計測はICタグ(返却不要)を使用します。アスリートビブス(ナンバーカード)とICタグは事前に送付しますので、当日受付の必要はありません。完走証はWEBでの発行のみとなります。

4 ハーフマラソンの部では、10km地点の通過タイム計測アリ！

5 豚汁サービスで、フィニッシュ後の皆さんをお迎えします！

6 コインロッカーを設置します！※1口 500円

7 エントリー者限定オリジナルTシャツ販売！



エントリーに関する
お問い合わせ先

「熊谷さくらマラソン大会エントリーセンター」

〒362-0073 埼玉県上尾市浅間台1-16-3 友光第7ビル テクノプラン(株)内

TEL. 048-778-5880 FAX. 048-778-5889

(10:00～17:00 土・日・祝日を除く)

宿泊先に
に関する情報

詳細は各施設に
お問い合わせ
ください。



申込方法 RUNNET(インターネット)エントリー 申込締切日：2026年1月12日(月・祝)

RUNNET(インターネットエントリー)よりお申し込みください。

大会エントリーページの指示に従ってお申し込みください。エントリー開始日時になると、エントリー入口画面の「開催日」の右側に青色の「エントリー」ボタンが表示され、申し込みができるようになります。

参加料のお支払方法は、お申し込みの際にお選びいただけます(クレジットカード、コンビニ、ATMなど)。

※エントリーには、RUNNETの会員登録(無料)が必要です。

※すでにRUNNETの会員の方は登録不要です。住所など登録情報に変更がないか「会員情報変更」でご確認ください。

エントリー手数料：4,000円まで220円、4,001円以上6.0%(税込)

<https://www.kumagaya-marathon.com>



個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を厳守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱います。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービスの提供、記録発表(ランキング等)に利用するとともに、外部に提供する場合もあります。また、主催者もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をさせていただくことがあります。

申込規約 ※参加者は下記の申込規約に必ず同意の上、お申し込みください。

- 自己都合による申込後の種目変更、キャンセルはできません。また、過剰入金・重複入金の返金はいたしません。定員を超える申し込みがあった場合、入金期限内に参加料の支払いが完了していても入金日によっては申し込みが無効となる場合がございます。その場合、主催者が定める方法により返金されます。
- 地震・風水害・降雪・事件・事故・疫病等による開催縮小・中止、参加料返金の有無・額、通知方法等についてはその都度主催者が判断し、決定します。
- 私は、心疾患・疾病等なく、健康に留意し、十分なトレーニングをして大会に臨みます。傷病、事故、紛失等に対し、自己の責任において大会に参加します。
- 私は、大会開催中に主催者より競技続行に支障があると判断された場合、主催者の競技中止の指示に直ちに従います。また、その他、主催者の安全管理・大会運営上の指示に従います。
- 私は、大会開催中に傷病が発生した場合、応急手当を受けることに異議ありません。その方法、経過等について、主催者の責任を問いません。
- 私は、大会開催中の事故、紛失、傷病等に関し、主催者の責任を免除し、損害賠償等の請求を行いません。
- 大会開催中の事故・傷病への補償は大会側が加入した保険の範囲内であることを了承します。
- 私の家族・親族、保護者(参加者が未成年の場合)、またはチームメンバー(代表者エントリーの場合)は、本大会への参加を承諾しています。
- 年齢・性別等の虚偽申告、申込者本人以外の出場(代理出走)はいたしません。それらが発覚した場合、出場・表彰の取り消し、次回以降の資格はく奪等、主催者の決定に従います。また、主催者が虚偽申告・代理出走者に対する救護・返金等一切の責任を負わないことを了承します。
- 大会の映像・写真・記事・記録等(氏名・年齢・性別・記録・肖像等の個人情報)が新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレット等に報道・掲載・利用されることを承諾します。また、その掲載権・使用权は主催者に属します。
- 大会申込者の個人情報の取り扱い、別途記載する主催者の規約に則ります。
- 上記の申込規約の他、主催者が別途定める大会規約に則ります(組紐がある場合は大会規約を優先します)。